

# 東京多摩地域の

## ごみ動向

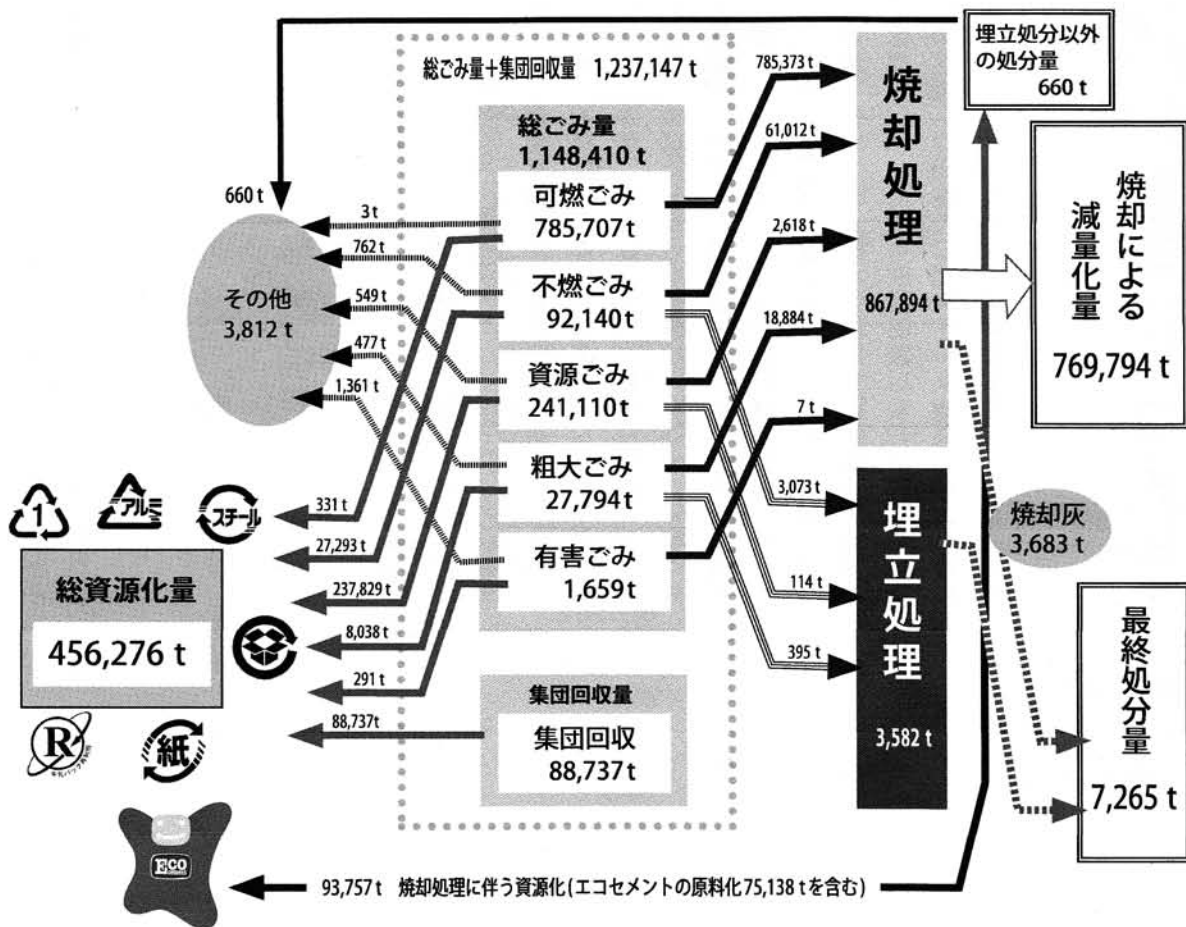
財団法人東京市町村自治調査会 調査部

瓜生田 和正

### 「多摩地域ごみ実態調査」について

財団法人東京市町村自治調査会は、平成3年度から多摩地域30市町村(以下「各市町村」という)のごみとリサイクルの実績を調査し、統計書として「多摩地域ごみ実態調査」を毎年度発行しています。平成22年8月に平成21年度統計が完成いたしました。小稿では、多摩地域のごみ量、ごみの資源化、最終処分量の経年変化、及び多摩地域のごみ収集有料化の状況を整理します。

平成21年度 多摩地域のごみの流れ図



## 多摩地域のごみ量（収集ごみ量及び持込ごみ量）



平成21年度のごみ量は1,148,410 tとなり、前年度に比べ、3.9%（45,373 t）減少しました（表1参照）。内訳では、家庭ごみが大半を占める収集ごみ量が2.2%（21,027 t）減少し、ほとんどが事業系ごみと見られる持込ごみ量も11.3%（24,346 t）減少しました。収集ごみ量を項目別に見ると、可燃ごみが2.1%（約13,000 t）、不燃ごみが2.2%（約2,000t）、資源ごみが2.9%（約7,000t）前年度と比べ減少しました（表2参照）。

平成21年度の1人1日当たりのごみ量（集団回収量を含む）は821 gとなり、前年度に比べ、4.3%（37 g）減少しました。1人1日当たりのごみ量は平成12年度以降順調に減少を続けています。グラフ1は、多摩地域と全国、都区部の1人1日当たりのごみ量を比較したものです。統計値が比較できる平成20年度をみると全国は1,033 g、都区部は1,126 g、多摩地域は858 gですので、多摩地域の少なさが際立っています

表1 多摩地域のごみ量・集団回収の推移

（単位 t）

区分 年度	ごみ量(収集ごみ+持込ごみ)			集団回収量 C	ごみ量+ 集団回収量 (A+B+C)
	収集ごみ量 A	持込ごみ量 B	小計 (A+B)		
平成5年度	1,105,270	168,926	1,274,196	73,605	1,347,801
平成6年度	1,105,247	180,292	1,285,539	80,826	1,366,365
平成7年度	1,102,503	177,473	1,279,976	85,404	1,365,380
平成8年度	1,102,972	177,611	1,280,583	88,481	1,369,064
平成9年度	1,115,222	190,592	1,305,814	89,607	1,395,421
平成10年度	1,115,319	206,289	1,321,608	93,204	1,414,812
平成11年度	1,103,646	216,182	1,319,828	92,159	1,411,987
平成12年度	1,101,065	238,892	1,339,957	95,209	1,435,166
平成13年度	1,084,389	250,230	1,334,619	94,559	1,429,178
平成14年度	1,078,114	252,927	1,331,041	91,537	1,422,578
平成15年度	1,083,919	256,228	1,340,147	92,845	1,432,992
平成16年度	1,048,127	252,526	1,300,653	94,777	1,395,430
平成17年度	1,039,986	256,344	1,296,330	96,582	1,392,912
平成18年度	1,024,750	251,273	1,276,023	96,421	1,372,444
平成19年度	998,278	239,931	1,238,209	97,554	1,335,763
平成20年度	972,141	221,642	1,193,783	91,747	1,285,530
平成21年度	951,114	197,296	1,148,410	88,737	1,237,147

グラフ1

1人1日あたりのごみ量の推移

単位：g/人日

□ 多摩地域

□ 都区部

□ 全国

※国が1人1日あたりのごみ量を、集団回収を含んだ量にしているため、このグラフは集団回収量を含んだ1人1日あたりのごみ量としています。

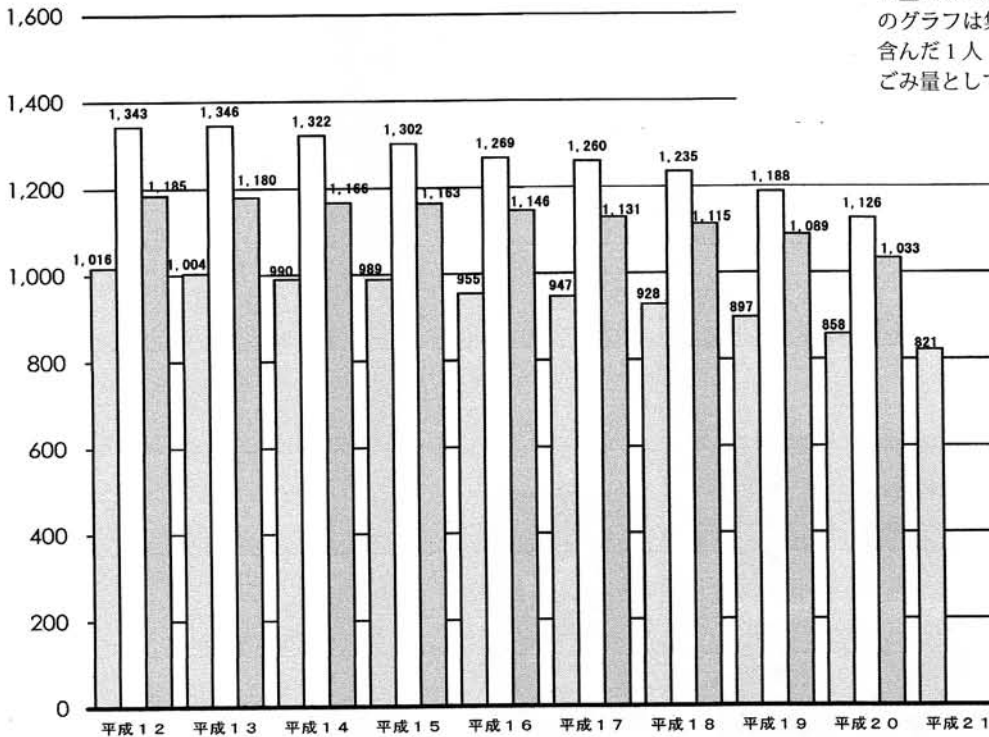


表2

多摩地域のごみ量(収集ごみ+持込ごみ)内訳の推移

(単位 t)

区分 年度	ごみ量(収集ごみ+持込ごみ)					集団回収量	ごみ量+ 集団回収量
	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	有害ごみ		
平成5年度	1,003,586	184,204	55,693	30,020	693	73,605	1,347,801
平成6年度	994,305	174,444	28,550	87,517	723	80,826	1,366,365
平成7年度	990,005	160,950	29,019	99,222	780	85,404	1,365,380
平成8年度	983,198	150,110	30,051	116,348	876	88,481	1,369,064
平成9年度	980,711	143,010	28,626	152,522	945	89,607	1,395,421
平成10年度	975,003	145,884	27,620	171,996	1,105	93,204	1,414,812
平成11年度	968,012	143,114	27,886	179,500	1,316	92,159	1,411,987
平成12年度	966,153	142,593	196,972	32,793	1,446	95,209	1,435,166
平成13年度	960,645	135,225	209,313	27,903	1,533	94,559	1,429,178
平成14年度	951,547	134,686	215,022	28,073	1,713	91,537	1,422,578
平成15年度	954,228	138,097	215,910	30,120	1,792	92,845	1,432,992
平成16年度	909,564	129,360	231,031	28,908	1,790	94,777	1,395,430
平成17年度	888,084	119,853	255,238	31,393	1,762	96,582	1,392,912
平成18年度	871,215	113,796	257,863	31,412	1,737	96,421	1,372,444
平成19年度	845,925	102,932	257,211	30,425	1,716	97,554	1,335,763
平成20年度	820,981	94,431	247,441	29,274	1,656	91,747	1,285,530
平成21年度	785,707	92,140	241,110	27,794	1,659	88,737	1,237,147

## 多摩地域のごみの資源化



平成 21 年度の<sup>[注]</sup>総資源化率（リサイクル率）は 36.9%、ごみ資源化率は 32.0%となりました。前年度と比べて、総資源化率、ごみ資源化率ともに 0.2 ポイントの増加となりました。

（グラフ 2 参照）

[注] ごみの資源化の状況を示す総資源化率及びごみ資源化率は、次の算式により求めています。

※総資源化率（リサイクル率）＝

$$\frac{\text{資源ごみからの資源化量} + \text{収集後資源化量} + \text{集団回収量}}{\text{総ごみ量} + \text{集団回収量}}$$

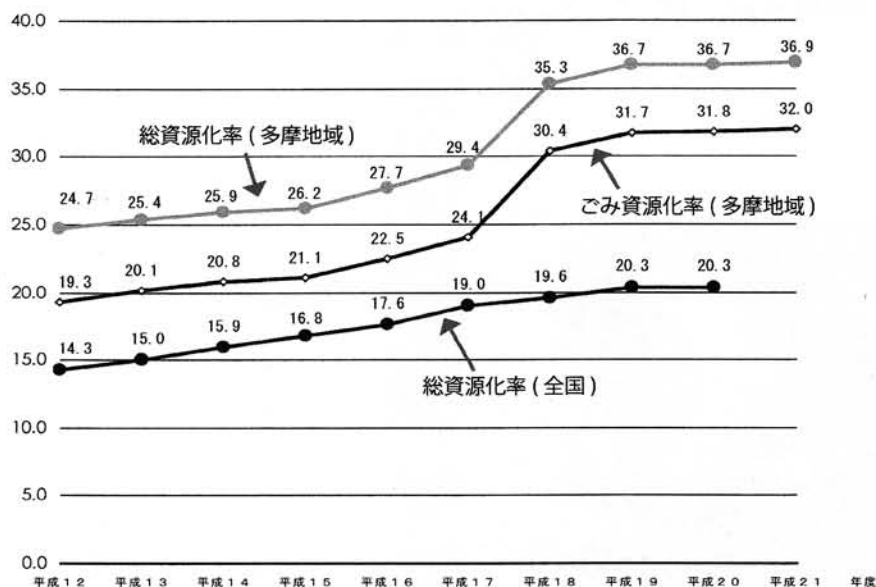
※ごみ資源化率＝

$$\frac{\text{資源ごみからの資源化量} + \text{収集後資源化量}}{\text{総ごみ量}}$$

グラフ 2

資源化率の推移

単位：%



環境省の平成 21 年度全国平均の総資源化率は、平成 22 年 7 月現在公表されていませんので掲載していません。

## 多摩地域の最終処分量



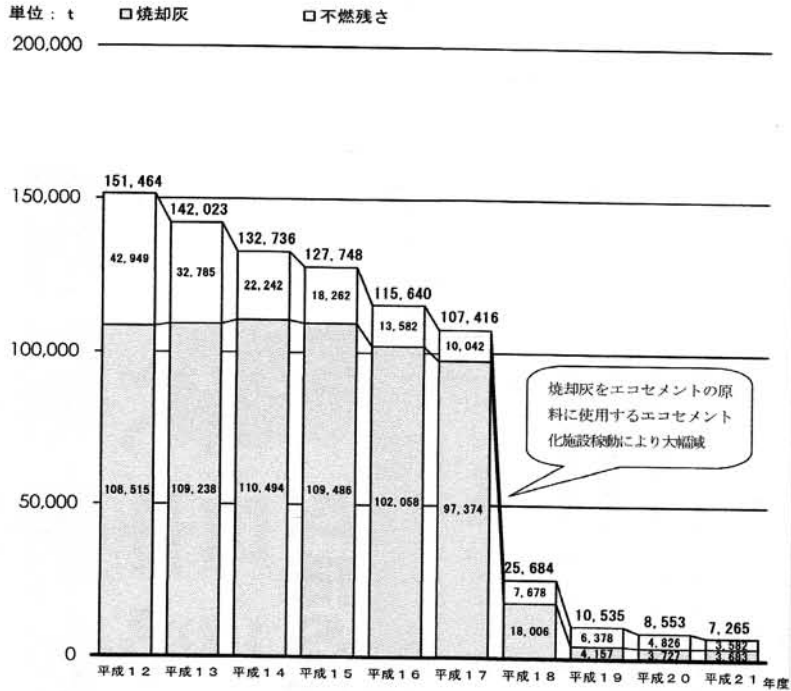
最終処分量は 7,265 t と前年度に比べ 15.1%（1,288 t）減少しました。

（次ページグラフ 3 参照）

内訳をみると、焼却処理施設からの焼却灰が 1.2%（44 t）の減少、不燃残さ（不燃ごみを破碎選別したもの。）の埋立が 25.8%（1,244 t）の減少となっています。

グラフ3

最終処分量の推移



多摩地域のごみ収集有料化の状況

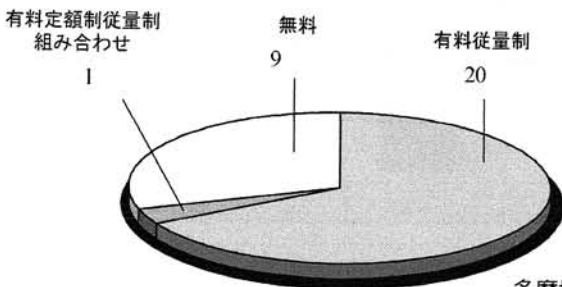


平成22年8月末現在、多摩地域30自治体の中でごみ収集（家庭系）の有料化をしている自治体は21自治体です。（グラフ4参照）最近では、平成21年10月に三鷹市、平成22年2月に府中市が有料化を実施しました。

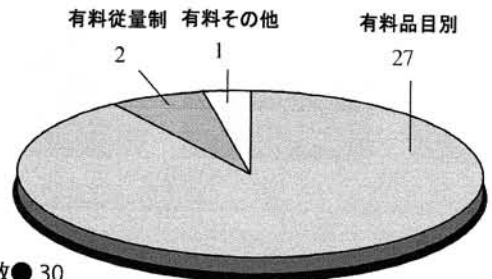
以下、次ページ表3（およびグラフ）では、平成13年度から21年度の間にごみ収集（家庭系）の有料化をした18自治体の1人1日当たりの収集ごみ量（可燃）の経年変化を示しています。有料化の1年前の水準を100としたとき、有料化実施後5年までの間に100を超える自治体はなく、おおむね右肩下がりとなっています。多摩地域は市民の意識レベルの高さから、ごみ減量のリバウンドが起きにくい地域といえるでしょう。

グラフ4

家庭系ごみ  
処理手数料（一般ごみ）  
徴収市町村数と方式



粗大ごみ処理手数料  
徴収市町村数と方式

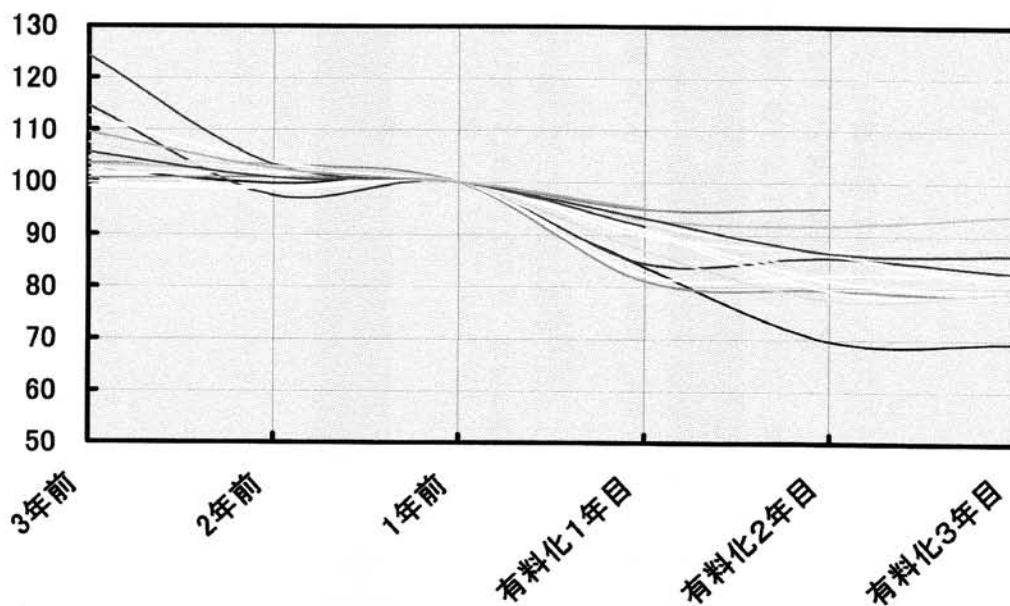


多摩地域全市町村数 ● 30

表 3

多摩地域の家庭ごみ有料化自治体の1人1日当たりの収集ごみ量(可燃) &lt;経年変化&gt;

市町村名	3年前	2年前	1年前	有料化 1年目	有料化 2年目	有料化 3年目	有料化 4年目	有料化 5年目
八王子市	102.3	99.7	100.0	83.8	69.7	69.3	68.2	68.3
武蔵野市	103.4	102.0	100.0	93.0	91.9	93.9	91.1	90.5
三鷹市	105.6	100.8	100.0	91.6	-	-	-	-
府中市	109.6	102.6	100.0	95.0	-	-	-	-
昭島市	114.6	97.3	100.0	84.5	85.6	82.7	82.5	81.5
調布市	103.6	103.3	100.0	81.2	79.5	77.9	74.2	73.6
町田市	101.7	102.3	100.0	92.1	81.9	80.9	80.0	78.7
小金井市	104.6	102.4	100.0	92.2	86.5	80.7	79.0	76.8
東村山市	112.7	103.7	100.0	91.1	81.2	79.4	80.2	79.2
福生市	102.4	98.6	100.0	85.4	86.6	84.4	87.0	84.8
狛江市	104.4	102.3	100.0	92.3	82.8	81.1	79.8	77.9
清瀬市	99.1	98.7	100.0	90.0	87.0	87.3	83.5	84.2
多摩市	100.6	100.9	100.0	94.8	95.1	-	-	-
稲城市	107.5	101.0	100.0	91.6	86.9	87.5	84.5	84.5
羽村市	124.3	103.4	100.0	93.2	86.5	86.2	89.0	87.7
あきる野市	99.9	99.0	100.0	82.3	82.4	82.6	80.7	79.2
西東京市	101.4	101.9	100.0	90.7	79.4	78.1	-	-
瑞穂町	104.7	103.0	100.0	87.0	77.6	79.2	81.2	81.7



【注】平成12年度以前に有料化した奥多摩町、青梅市、日野市については本表に掲載していません。